

巻頭言

勝手と自由



館長
加藤 憲二

新しく静岡大学のメンバーになられた皆さん、ようこそ。附属図書館一同、みなさんを心から歓迎します。きょうは図書館のお話をさせていただく前に、ちょっと別の話しを。

何も拘束するもの（条件）がないよというときに、「勝手にしていいよ」という言い方がありませんね。もっと突き放してしまえば、「勝手にしろよ」となりますが。日本の一軒家には、お勝手、あるいは勝手口という玄関とは別の台所へとつながる、あるいは直結する小さな出入り口がしばしばもうけられています。正式な玄関とは違って、内々の出入り口。私は映画でしか知りませんが、東京では「ご用聞き」がこのお勝手から顔をのぞかせていたのですね。

〈勝手〉が入った言葉には、「好き勝手」。これは少し齟齬を買うような行動への言葉ですが、「好きにしていよ」と言う言い方もあります。余裕が感じられますね、言う方に。しかしこれらはすべて、制約（縛り）がない、ということを行っています。

ところで、「どうぞご自由に」という言い方もありますが、ちょっと気取っている、と思われる

のかあまり使われません。ただそれはちょっと違うかな、と思います。そもそも〈自由〉という言葉の持つ意味が私たちの日常生活の中にはしっかりと根付いているとは言えないのではないかと私はかねがね思っています。そしてこの〈自由〉という考え方が、大学という〈最後の〉教育機関にあっては一番大事ではないかとも思います。

〈自由〉というのは、制約がない、というだけではもちろんありません。それを求めて西欧では人々の激しい闘争の歴史があった。それは人間の基本的な権利として求められてきたものですが、今の日本の大学にあってはやはり根幹に位置づけられるべきものだと思います。自由に、自由闊達に振る舞うには、やらねばならないことがある。自由に振る舞うためには明文化されていない様々な、それぞれの立場や場面でやらねばならないこと、やってはならないことがあります。それをみなが行うことによって生まれる自由、気持ちのいい空間と時間。自由闊達な雰囲気。それが新しいものを生み出す大学の土壌をも作っていくと思いますし、何より人が育っていく場の基本だと思います。勝手口とは違って、正面玄関から堂々、ですね〈自由〉は。

では図書館の話。

iPad や (iPad 2 がでましたね) Kindle の普及からもわかる通り、紙でできた本はどんどんと電子情報に置き換わってきています。みなさんが専門課程に進んで卒業研究に取り組むようになり、大学院に進むと、特に理工系では英語で書かれた論文を読むことが日常になります。世界中で発信されている理工系の研究論文のほとんどが電子で配信されるようになりました。静岡大学のメンバーになられたと同時に、図書館の中ばかりではなく、研究室やセミナー室など大学のさまざまな場所で、パソコンから数千の学術雑誌にアクセスすることができます。理工系の最新の研究論文を読むために図書館へわざわざ出かける必要はほとんどなくなりました。人文社会系や、法律のデータベースも量的な大小はありますが、電子情報での配信が増えてきています。

では図書館はもういらないの？

そうではありません。

毎年たくさんの本が紙で出版され続けていますし、何より静岡大学附属図書館には約120万冊の本があります。大学のキャンパスの中で、講義室と生協食堂以外に行くところがない？ 是非図書館へ来て下さい。

電子情報化の時代の流れの中で、静岡大学附属図書館も大きく変わりつつあります。大学には附属図書館を備えなさい、という法律があって附属図書館は作られたのですが、そのような法律はもうありません。つまり、我が国の大学ではもう図書館はあってもなくてもよい、極端に言えばその

ような変化の中で、静岡大学附属図書館は大きく変わろうとしています。昨年度の始めに静岡館はリニューアルオープンしました。入り口横に静岡大学の学生や教員の交流の場のギャラリー。教育学部の学生さんたちの書道や美術の展示の他、人文学部のゼミによる図書館にある江戸期の本の紹介、理学部の教員による地震研究の紹介など、日頃の活動をお互いが知り合う場に育っています。

入退館ゲートでは ID カード が必要ですが、これは地震などの緊急時に誰が図書館の中にいるのか、速やかに情報を得る役割も果します。その向こうにはカウンター前にゆったりした空間を用意しました。本のことは気軽に図書館員 (ライブラリアン) に聞いてください。大学にやってきて、まだ仲間もないので、ずっと下宿にかえる、ではちょっと寂しいではありませんか。PC ワークエリアもゆったりとってありますから、ここになにか探し物でも見つけてライブラリアンに気軽に話しかけてみてください。

携帯は、電話ボックスで！3階には個室ブースを6つ用意しました。卒論や学位論文の作成などに活用してください。空いていれば自習ももちろん OK です。そして5階には閲覧スペースの奥にグループ学習に適したハーベストルームを用意しました。場にふさわしい範囲内の会話は OK。時にはゼミが開かれていますので、自由に見学したりそっと参加したりしてはどうですか？まずはファミレス気分の椅子で、クラスの人と誘い合ってカリキュラムを広げて情報交換してはいかがでしょう？



(ギャラリーでの書道展示 2010年5～6月)

そして、お待たせしました、浜松キャンパスもかわります。改修工事が終わる7月まで、ご迷惑をおかけしますが今少しご辛抱ください。この期間も部分的には使えますので。

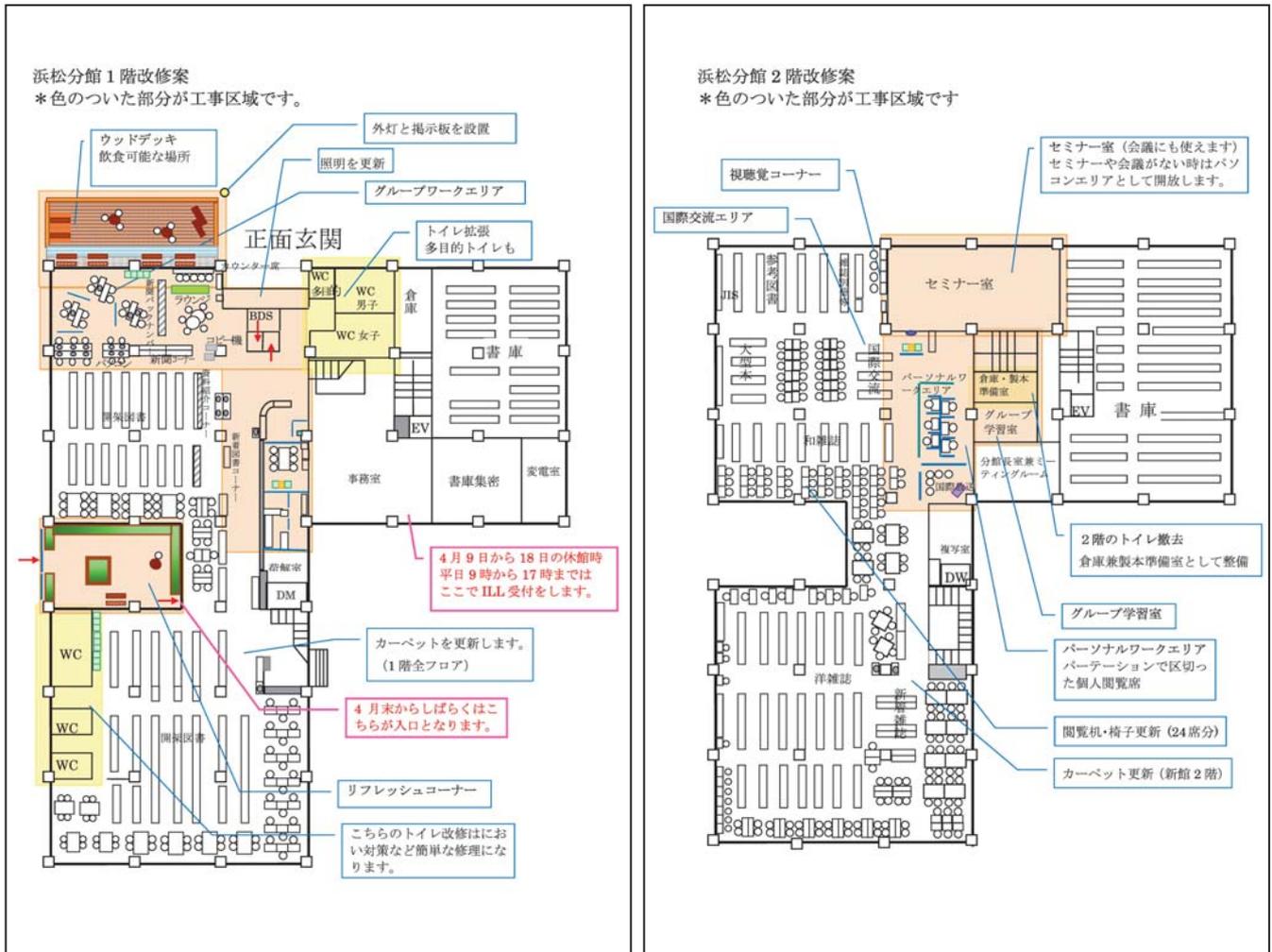
さあ、附属図書館を <自由に> 使って、あたらしい、あなたらしい静大キャンパススタイルを作ってください。それらが集まっていけば、<静岡大学図書館> の新しい<文化>が生まれてくるのではないかと期待しています。

(地球環境微生物学) (2351)

図書館浜松分館改修工事のお知らせ

浜松分館の改修工事を4月から7月上旬まで行います。改修の特色は以下の通りです。

- ・正面玄関横のトイレを拡張します。多目的トイレも新設します。
- ・図書館入口横にウッドデッキを設置します。飲食可能なスペースです。
- ・現在の1階参考図書コーナーを2階に移動し、グループワークエリアにします。話し合いながら学習できる場所です。
- ・中庭を整備し、リフレッシュコーナーとして開放します。
- ・2階にパーソナルワークエリアを設けます。パーテーションで区切り、資料を広げたりパソコンを使えたりできる大きめの机を用意します。



<改修工事期間中の図書館利用について>

*日程は工事の進捗により変更する場合があります。

4月4日(月)～8日(金) ⇒ **通常開館**

4月9日(土)～18日(月) ⇒ **休館**

・休館中も他大学への文献複写や貸借の依頼を受け付けます。(受付場所は図参照)

4月19日(火)～28日(木) ⇒ **部分開館 (1階閲覧室のみ)**

・2階のカーペット更新が終了するまでは1階のみの利用となります。

4月29日(金)以降 ⇒ **部分開館 (1階、2階閲覧室)**

・正面玄関側の工事が始まります(図では色つき部分)。1階の開架書架、2階参考図書と雑誌新着及びバックナンバー書架そして1階2階の閲覧席は利用可能です。

【平成 22 年度 図書館ギャラリー企画展報告】

静岡本館は、「魅力的な教育研究環境を実現する空間」を目指して、人が行き交う都市の中の公園をイメージした「Learning Park 構想」をコンセプトに、平成 22 年 4 月にリニューアルオープンしました。図書館入口に位置するギャラリーも、同じコンセプトのもとに新設され、「研究成果や活動を公開し、人と人との新たな出会い、学術交流のきっかけを作る」ことを目標に、1 年間に 8 回の企画展を開催してきました。毎回すてきに生まれ変わる空間に心が躍りました。主催者の皆さま、そして企画展を楽しみに来館して頂いた方々、ありがとうございました。

	開催期間	企画展名 (ギャラリートーク または 作品案内)	主催
第 1 回	2010 年 4/5～4/28	地震研究企画展 (4/14・4/28 林先生)	創造科学技術大学院 環境・エネルギーシステム
第 2 回	5/14～6/4	静と動 書文化展 (5/27～6/1 平日昼 個別案内)	教育学部 書文化専攻 学生
第 3 回	6/9～7/9	ART is freedom 美術科展	教育学部 美術デザイン 学生
第 4 回	7/21～8/20	はじめよう！キャンパスエコらいふ (8/10 大塚先生、藤井先生)	環境を考える会＋環境サークル ＋図書館
第 5 回	9/1～10/1	見よう 知ろう 学ぼう 防災総合センター (10/1 牛山先生)	防災総合センター
第 6 回	10/13～11/10	美術科絵画研究室院生 5 人展	教育学研究科 美術教育 院生
第 7 回	12/7～12/27	静岡の農耕起源をさぐる	人文学部 社会科学科 考古学研究室
第 8 回	2011 年 1/24～2/18	ちょっと解れば かなり楽しい 江戸の本 (1/26 小二田先生)	人文社会科学研究科 ＋図書館

5 つの企画では主催者によるギャラリートークや作品案内がありました。書画や美術作品の展示では、学生さんたちが積極的に活動してくれました。企画展を通して、正課の授業との連携も実現しました。さらに、図書館コレクションを紹介する機会にも恵まれました。今まで知らなかった分野を知ることができた等、ギャラリーを訪れた方の感想からも、主催して下さった皆さんの活動発表の場として、ささやかですが貢献できたと実感しています。

図書館ギャラリーは、学内の教職員の方々、大学院生、学部生の研究成果の発表や作品展示にご利用頂けます。ぜひ、皆さんの活動の成果を、静岡大学の【文化】を発信する場所として活用してください！

地震研究企画展

図書館リニューアルOPEN記念！
第1回 Exhibition
創造科学技術大学院 林先生の地震研究企画展
地震の化石・西川大地震の研究成果を日中英語で出版！

林 愛明 (Aiming LIN)
静岡大学創造科学技術大学院・教授
(表: 静岡大学理学部地球科学科)
研究分野: 地震学・地質学
活断層・断層帯
地震記録メカニズム・地震学・外ニクス。主に活断層・地質学および震害学・断層帯・活断層帯・活断層帯・活断層帯の震害・高層断層帯の震害について

【ギャラリートーク開催！】
4/14 4/28 展示期間中の2日間
16:30-17:30 ギャラリーにて
世界最先端の研究について、林先生に直接お話を聞くことができるチャンスです。学生、教員、地味の方々、どなたでも参加できます。ご予約お申し込み下さい。

展示期間: 平成22年4月5日(月)～28日(水)
場所: 附属図書館 ギャラリー (正玄関を入って左)
連絡先: 静岡大学附属図書館 静岡市駿河区大谷836
TEL: 054-238-4479 Email: lib-ref@edu.shizuoka.ac.jp

4 月 5 日～4 月 28 日

静と動 書文化展

静岡大学教育学部書文化専攻
会期: 平成22年5月14日(金)～6月4日(金)
時間: 9時～17時
場所: 静岡大学付属図書館
TEL: 054-238-4479 Email: lib-ref@edu.shizuoka.ac.jp

5 月 14 日～6 月 4 日

ART is freedom 美術科展

美術科展
2010.6.9 [wed] - 7.9 [fri]

6 月 9 日～7 月 9 日

はじめよう！ キャンパスエコらいふ

はじめよう！
キャンパスエコらいふ
この企画展は学内の環境に変わる環境について、みんなでエコなキャンパスを創ろう！

エコの芽くらぶ
静岡大学の環境を考える
グリーングリーン

期間: 平成22年7月21日(水)～8月20日(金)
場所: 附属図書館 ギャラリー (正玄関を入って左)
連絡先: 附属図書館 静岡市駿河区大谷836
TEL: 054-238-4479 Email: lib-ref@edu.shizuoka.ac.jp

7 月 21 日～8 月 20 日

学生用図書の利用学生モニターによる選書報告

<静岡本館>

図書館の蔵書とする図書を学生自身が選ぶモニター選書は、今回で4回目となりました。静岡市内の書店に学生モニター6名が集まり、本を実際に手にとりながら合計 117 冊の図書を選定しました。選定された図書は、選んだ学生さん本人が紹介しています。5階閲覧室の新作図書コーナーにしばらく展示していますので、是非ご利用ください。



<浜松分館>

浜松では去年に引き続き、浜松市内の書店にて行いました。参加できたのは3名だけでしたが、書店にて自由に欲しい本を選べる（まさに大人買い）という経験は初めてだということで、予定していた時間を超過しての選書となりました。

その結果 84 冊の図書を選定しました。書店での選書に参加できなかったモニターからはメールで選書を募り、11 冊選定しました。

現在カウンタ前の資料紹介コーナーに選書キャンペーンでリクエストされた図書と一緒に展示しています。



● 利用学生モニター ●

静大生の皆さん。図書館づくりに参加してみませんか。

図書館に興味のある方、意見のある方大歓迎です。

モニターにはモニター証が発行され、モニター選書に参加できるなどの特典があります。例年、5月頃に募集をしますので、関心のある方は応募してください。

☆ 教員等著作寄贈図書一覧 ☆

このリストは本学教職員により著作(等)され図書館にご恵贈していただいた図書を一覧にしたものです。(各館五十音順)
(平成 23 年 2 月 24 日現在)

●本館受入

- ◇大野旭 (人文学部)
・アル寨石窟壁画 [内蒙古人民出版社] <編集委員>
静・書庫 [702. 22/G1]
- ◇川瀬憲子 (人文学部)
・「分権改革」と地方財政 : 住民自治と福祉社会の
展望 [自治体研究社] <著者>
静・書庫 [349/KA97]
- ◇静岡大学教育学部附属静岡小学校
・自分らしくなる : 事実を根拠として、どのよう
に理由をつくっていくか
[静岡大学教育学部附属静岡小学校] <著>
静・開架 [375/SH94]
- ◇土隆一 (元 理学部教員)
・静岡県地学のガイド : 静岡県の地質とその
おいたち 新版 [コロナ社] <編著>
静・開架 [455. 154/TS25]
- ◇藤井基貴 (教育学部)
・資料でみる教育学 : 改革と心の時代に向けての
[福村出版] <執筆> 静・書庫 [371/SH66]
- ◇本多隆成 (元 人文学部教員)
・定本徳川家康 [吉川弘文館] <著者>
静・開架 [289. 1/T036H]
- ◇吉原崇恵 (元 教育学部教員)
・子どもがいきる家庭科 : 生活を科学し、実践
する力を育てる授業づくり [開隆堂出版]
<編著> 静・開架 [375. 5/Y87]

●分館受入

- ◇松田智 (工学部)
・幻想のバイオマスエネルギー : 科学技術の視点
から森林バイオマス利用の在り方を探る
[日刊工業新聞社] <共著>
浜・開架 2 冊 [501. 6/KU14]
※1 冊資料紹介コーナー/教員著作の本に展示
- ◇情報基盤センター
・クラウド VPS 入門 : 運用・構築から高度な利用
まで [ITSC 静岡学術出版事業部] <研究>
浜・開架 [007. 3/KU57]

●本館・分館共通受入

- ※ 浜松開架=資料紹介コーナー/教員著作の本
(カウンタ前) に展示中
- ◇大田春外 (教育学部)
・高校と大学をむすぶ幾何学 [日本評論社] <著>
[414/081] 静/浜・開架※
- ◇大野旭 (人文学部)
・打倒ウランフー(烏蘭夫) [風響社] <編>
[312. 227/Y72/3] 静・書庫/浜・開架※

- ◇加藤憲二 (図書館長/理学部)
・柿田川の自然 : 湧水河川を科学する
[ITSC 静岡学術出版事業部] <執筆>
[462. 154/KA26] 静・書庫/浜・開架※
- ◇野上啓一郎 (農学部)
・ヒューマン・エコロジーをつくる: 人と環境の
未来を考える [共立出版] <編者>
[361. 7/N93] 静/浜・開架※
- ◇三島おさむ (人文学部)
・どうぞ蚊帳の中へ : 21 世紀によみがえる
不思議空間 [本の風景社] <著>
[597. 3/MI53] 静/浜・開架※
- ◇人文学部社会学科文化人類学コース
・川根本町・千頭 (フィールドワーク実習調査報告
書 平成 22 年度)
[静岡大学人文学部社会学科文化人類学コース]
[382. 154/SH94/2010] 静/浜・開架※
- ◇情報基盤センター
・クラウドコンピューティング : 全面適用の
インパクト: 静岡大学クラウド情報基盤
SUCCES(Shizuoka University Cloud Computing
Eco System) の紹介 [ITSC 静岡学術出版事業部]
<研究> [007. 3/KU57] 静/浜・開架※

訂正とお詫び

本通信 162 号にて【●本館・分館共通受入】の項目で、遠山弘徳先生の所属を「教育学部」としておりました。正しくは「人文学部」の間違いです。訂正してお詫び申し上げます。

∞∞ 図書館の動き ∞∞

平成 22 年度第 3 回附属図書館委員会 <12 月 22 日(水)>

○審議事項

1. 附属図書館利用規程の一部改正について
2. 不用候補図書の不用決定について

○報告事項

1. 図書館利用者アンケートについて
2. 平成 22 年度附属図書館利用セミナー
年間実施報告について
3. 浜松分館改修について
4. 電子ジャーナル等の契約状況について
5. 次期図書館業務用電子計算機システムの
仕様策定委員について

図書館開館日程〔2011年4月～2011年9月〕

9:00～22:00

9:00～19:00

9:00～17:00

休館

静岡本館開館日程

※開館日・開館時間は変更することがあります。
臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

2011年4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

浜松分館開館日程

※開館日・開館時間は変更することがあります。
臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

2011年4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

静岡大学附属図書館報「図書館通信」第163号 (平成23年3月 日発行)
 発行所 静岡大学附属図書館 URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp>
 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
 Tel. 054-23-4473 Fax. 054-238-5408 (再生紙使用)

